資料３

平成２７年度

全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査

報告書（案）

平成 27 年 11 月 18 日

北九州市教育委員会

平成２７年度　全国学力・学習状況調査　報告書

Ⅰ　平成２７年度全国学力・学習状況調査の結果

１　調査結果の概要 ―――１～６

⑴　平成２７年度　全国学力・学習状況調査　報告書（概要）―――――――――――――― １～２

⑵　調査の概要―― ３

⑶　成果と課題　―― ４

⑷　調査結果の経年変化―――――――――――――――――――――――――――――――――――― ５～６

２　教科に関する調査の結果と分析 ―――――――――――――――――――――――――――― ７～５６

⑴　正答数分布表及び平均正答数からみた本市の児童生徒数―――――――――――――― ７～１０

⑵　全国より無解答率の高い問題数の比較―――――――――――――――――――――――― １１～１２

⑶　小学校国語・中学校国語―――――――――――――――――――――――――――――――― １３～２６

⑷　国語科の分析及び改善の方向（福岡教育大学　教授　山元悦子）――――――――― ２７

⑸　小学校算数・中学校数学―――――――――――――――――――――――――――――――― ２８～４２

⑹　算数・数学科の分析及び改善の方向（福岡教育大学　教授　清水紀宏）――― ４３

⑺　小学校理科・中学校理科―――――――――――――――――――――――――――――――― ４４～５５

⑻　理科の分析及び改善の方向（福岡教育大学　教授　坂本憲明）――――――――― ５６

３　学習状況調査の結果と分析―――――――――――――――――――――――――――――――――――５７～１０４

⑴　生活習慣 ―― ５８～６０

⑵　規範意識―― ６１～６４

⑶　自尊感情・夢・希望―――――――――――――――――――――――――――――――――― ６５～６８

⑷　学習習慣―― ６９～７５

⑸　読書―― ７６～７８

⑹　意欲・関心・態度・授業改善―――――――――――――――――――――――――――――― ７９～９６

⑺　言語活動―― ９７～１０２

⑻　研修―― １０３

⑼　生活等と学力の結果から（福岡教育大学　教授　井上豊久）――――――――――― １０４

Ⅱ　北九州市のさらなる学力向上のために

１　学力向上構想図 ―――――――――――――――――――――――――――――――― １０５～１０６

２　学力向上のための今後の取組―――――――――――――――――――――――――――――― １０７～１１１

⑴　これまでの取組の徹底―――――――――――――――――――――――――――――――――― １０７～１１０

⑵　拡充すべき既存の施策―――――――――――――――――――――――――――――――――― １１１

⑶　新たに取り組むべき施策―――――――――――――――――――――――――――――――― １１１

３　成果を上げた各学校の取組事例―――――――――――――――――――――――――――― １１２～１１５

⑴　年度毎の各学年の経年比較（これまでの分析の視点）―――――――――――――――― １１２～１１３

⑵　同一集団での経年比較（これからの分析の視点）―――――――――――――――――― １１４～１１５

Ⅰ　平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果

１　調査結果の概要

２　教科に関する調査の結果と分析

３　学習状況調査の結果と分析

１　調査結果の概要

⑴　平成２７年度　全国学力・学習状況調査　報告書（概要）

⑵　調査の概要

⑶　成果と課題策

⑷　調査結果の経年変化

(1)　平成２７年度　全国学力・学習状況調査　報告書（概要）

北九州市のさらなる学力向上のために　－本年度の調査結果から－

全国学力・学習状況調査

小学校6年		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
平成24年度	本市平均正答率	79.4	52.2	70.4	56.1	59.7
	全国平均正答率	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
	全国平均正答率との差と割合	-2.2　97.3%	-3.4　93.9%	-2.9　96.0%	-2.8　95.2%	-1.2　98.0%
平成25年度	本市平均正答率	60.3	46.3	74.6	56.5	
	全国平均正答率	62.7	49.4	77.2	58.4	
	全国平均正答率との差	-2.4　96.2%	-3.1　93.7%	-2.6　96.6%	-1.9　96.7%	
平成26年度	本市平均正答率	69.1	52.6	76.2	55.4	
	全国平均正答率	72.9	55.5	78.1	58.2	
	全国平均正答率との差	-3.8　94.8%	-2.9　94.8%	-1.9　97.6%	-2.8　95.2%	
平成27年度	本市平均正答率	67.1	62.1	73.3	43.7	57.3
	全国平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
	全国平均正答率との差	-2.9　95.9%	-3.3　95.0%	-1.9　97.5%	-1.3　97.1%	-3.5　94.2%

中学校3年		国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平成24年度	本市平均正答率	73.5	61.1	58.6	43.8	48.6
	全国平均正答率	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
	全国平均正答率との差と割合	-1.6　97.9%	-2.2　96.5%	-3.5　94.4%	-5.5　88.8%	-2.4　95.3%
平成25年度	本市平均正答率	74.7	65.0	60.3	38.2	
	全国平均正答率	76.4	67.4	63.7	41.5	
	全国平均正答率との差	-1.7　97.8%	-2.4　96.4%	-3.4　94.7%	-3.3　92.0%	
平成26年度	本市平均正答率	77.2	47.6	62.4	54.4	
	全国平均正答率	79.4	51.0	67.4	59.8	
	全国平均正答率との差	-2.2　97.2%	-3.4　93.3%	-5.0　92.6%	-5.4　91.0%	
平成27年度	本市平均正答率	73.9	63.1	61.6	37.7	50.0
	全国平均正答率	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
	全国平均正答率との差	-1.9　97.5%	-2.7　95.9%	-2.8　95.7%	-3.9　90.6%	-3.0　94.3%

○　平均正答率については、小・中学校とも、全てのカテゴリーにおいて全国平均正答率を下回っているが、全国平均正答率との差を、昨年度と比較すると、小学校の算数Ａと中学校の数学Ｂ以外は、昨年度より縮まっている。
○　理科については、前回の平成２４年度と比較すると、小中学校とも全国平均正答率との差が広がっている。
○　全国平均正答率を１００％として、平成２４年度以降を経年で比較すると、小学校の国語Ｂと算数Ａは上昇傾向だが、それ以外は，小中学校とも一進一退の傾向にある。
○　全国平均正答率を上回る学校数が多くなった。
○　中学校における、下位層の底上げが進んだ。
○　小学校では無解答率が改善された。
※　Ａは主として「知識」に関する問題、Ｂは主として「活用」に関する問題である。
※　全国平均正答率は、平均正答数を百分率で表示したもの（平均正答数／設問数）であり、全国（公立）の数値である。

生活の状況

＜携帯電話やスマートフォン・テレビ・ゲーム・インターネット等＞
○　小中学校ともメディアとの接触時間が全国より長い傾向が続いており、特にゲームをする時間については、増加の傾向にある。また、携帯電話、スマートフォンの所持率も増加し、全国を上回っている。
＜学校生活＞
○　小中学校とも学校に行くことは楽しく、友達との人間関係も良好であると言えるが、学級のみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあると答えた児童生徒は減少し、全国を下回っている。
＜基本的生活習慣＞
○　朝食摂取率を全国と比較すると、中学校では同程度であるが、小学校では少ない傾向が続いている。
○　睡眠については、全国と同程度に規則正しい生活を送っているが、就寝時間については、起床時間に比べて、全国と同様不規則な児童生徒が多い。
＜家庭でのコミュニケーション＞
○　家の人と学校の出来事について話をする児童生徒は、小学校中学校とも全国と同程度である。
○　家の人が学校行事に来る割合は、小学校では、全国と比べてやや高く、中学校では「よく来る」と答えた生徒が、全国と比べて 10%以上高い傾向が続いている。
＜自尊意識・規範意識＞
○　成功体験については、中学校では全国と同程度であるが、小学校ではやや下回っている。
○　困難なことにも挑戦することは、中学校では全国と同程度であるが、小学校ではやや下回っている。
○　自己評価については、小中学校ともに全国をやや下回っている。
○　将来に対する夢や希望は、小中学校ともに全国と同程度である。
○　学校のきまりを守り、いじめはいけないことだと思っている児童生徒は全国と同程度である。
＜地域との関わり＞
○　地域への児童生徒の関心は、全国と同程度であるが、地域行事への参加率は全国と比べて低い傾向が続いている。

各教科の状況

小学校国語○漢字を正しく読むことや、記述式の正答率が上昇。●漢字を正しく書くことや、目的や意図に応じて情報を整理したり、関連付けたりして考えをまとめることが課題。
小学校算数○「数と計算領域」や、割合の問題では全国平均正答率を上回る。●小数の計算や分度器を用いて 180° より大きい角の求め方、情報処理、理由の記述などが課題。
小学校理科○実験器具の名称の理解が定着。●観察器具の適切な操作や科学的な言葉の理解、見通しをもった実験計画の立案が課題。
中学校国語○語句の意味の理解と適切な使用、表現の工夫について自分の考えをもつことが改善。●漢字や品詞の知識、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを書くことが課題。
中学校数学○基本的な図形の理解、数学的な見方や考え方、記述式の問題が改善。●数量の関係を文字式に表す技能や、問題解決する方法を数学的に説明することが課題。
中学校理科○化学的領域の平均正答率が上昇。●オームの法則の適切な活用、自然の事物・現象からの課題の設定、課題に対して適切な実験を計画し考察することが課題。

研修や学習指導の状況

○　各学校における調査結果の分析と、学力向上に向けた取組を学校ホームページと学校便りで、保護者や地域に広げた。そのため、調査結果の活用と、保護者への説明や働きかけは全国平均を大幅に上回ることができた。
○　めあてやねらいを明確にした授業改善は、小中学校とも全国平均を上回っている。
○　小学校では、講師の招聘や授業研究を行なう校内研修は全国平均を上回っている。
●　発言や活動の時間を確保した授業は、全国平均より低い状態が続いている。
●　中学校国語科で書く習慣をつける授業は、全国と同等であるが、自分で調べたことを文章に書かせる指導は、小中学校とも全国平均を下回っている。
●　補充的な学習、発展的な学習は、全国平均を下回っている。
●　学習規律の定着については、昨年度に比べ課題が見られる。

家庭での学習に関するの状況

○　家庭学習の課題についての評価・指導をよく行った中学校は、全国平均を上回っている。
○　課題（宿題）を与えること、保護者に対しての働きかけについて、よく行っている学校は、全国を下回っているが、改善が図られている。
○　家で宿題や復習をする児童生徒は、全国平均を下回っているが、増加傾向にある。
●　家庭学習時間については、若干改善傾向が見られるが、１時間以上家庭で勉強する児童生徒を全国と比較すると、平日、休日ともに１０％以上の差がある。
●　新聞を読んでいる児童生徒は減少傾向にあり、全国平均を下回っている。
●　テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る児童生徒は、全国平均をやや下回っている。

継続的な取組を　－学校・家庭・地域の連携・協力のもと，全体の底上げを目指して地道に，徹底して取り組む－

確かな学力向上に向けた総合的な施策

学力向上策をつなぐ指導体制の確立
①学力向上先進地への派遣
②学力向上シンポジウム開催

確かな学力をつくるPDCAサイクルの確立
①全国学力・学習状況調査の実施と活用
②北九州市学力状況調査の実施と活用
③英語能力判定テストの実施と活用
④学力向上推進会議の開催

学力向上に向けた学校の組織的な取組
①北九州市学力向上だより発刊
②学力・体力向上プラン作成
③学力向上学校訪問実施
④学力向上講習会開催
⑤各校の学力向上担当者による情報交換会

教師一人一人の授業力改善の支援
①北九州スタンダードリーフレットの作成と活用
②授業改善チェックシートの活用
③校内研修会の充実
④学校図書館の充実

児童生徒一人一人へのきめ細かな教育の確立
①児童生徒一人一人に対応できる教育の充実
②子どもひまわり学習塾の充実
③家庭で学習できるＷＥＢ問題などの充実

学力向上につながる家庭・地域との連携
①家庭学習チャレンジハンドブックの活用
②家庭学習を啓発するための家庭・地域と連携した取組
③メディアとの関わりを改善するための家庭・地域と連携した取組

確かな学力を育む校種間の連携
①　小中連携の充実

北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

本市作成資料
「北九州スタンダードカリキュラム」・「授業改善ハンドブック」・「指導と評価ハンドブック」・「家庭学習チャレンジハンドブック」・「ＷＥＢ問題（チャレンジシート）」・「活用する力を高めるワーク」・「音読暗唱ブックひまわり」・「英語大好き音読暗唱ＢＯＯＫ Rainbow」・「人権教材　新版　いのち」・「北九州道徳郷土資料」

⑵　調査の概要

①　調査の目的

ア　義務教育の機会均等とその水準の維持向上のため，児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより，教育の結果を検証し，改善を図る。また，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

イ　学校等における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

②　調査の対象学年

小学校第６学年，特別支援学校小学部第６学年

中学校第３学年，中等教育学校第３学年，特別支援学校中学部第３学年

③　調査の内容

ア　教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 ［国語Ａ，算数・数学Ａ・理科］	主として「活用」に関する問題 ［国語Ｂ，算数・数学Ｂ・理科］
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心とした出題

イ　生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

④　調査日時

平成２７年４月２１日（火）

【小学校調査】

１時限目	２時限目	３時限目	４時限目	５時間目	６時間目
注意事項の説明･準備(25 分)	国語Ａ(20 分) 算数Ａ(20 分)	国語Ｂ(40 分)	算数Ｂ(40 分)	理科(40 分)	児童質問紙 (20 分程度)

【中学校調査】

朝の時間	１時限目	２時限目	３時限目	４時限目	５時限目	６時限目
注意事項の説明･準備(15 分)	国語Ａ (45 分)	国語Ｂ (45 分)	数学Ａ (45 分)	数学Ｂ (45 分)	理科 (45 分)	生徒質問紙 (20 分程度)

⑤　調査を実施した学校・児童生徒数

	対象校	対象学校数	調査参加児童数
【小学校調査】	小学校	１３０校	７７７５人
	特別支援学校小学部	１校	１人
【中学校調査】	中学校	６２校	７６３４人
	特別支援学校中学部	３校	１２人

⑶　成果と課題

教科に関する調査結果から見られる成果と課題

【成果１】○　小中学校とも、昨年度と比較すると多くの教科・区分で改善された。

小学校　国語Ａ、Ｂ、算数Ｂは上昇　算数Ａは同程度
中学校　国語Ａ、Ｂ、数学Ａは上昇　数学Ｂは同程度

【成果２】○　全国平均正答率を上回る学校数が多くなった。

小学校　平成 26 年度　３９校→　平成 27 年度　　４４校
中学校　平成 26 年度　１２校→　平成 27 年度　　１３校
※　国語、算数（数学）の平均正答率の合計による比較

【成果３】○　中学校における、下位層の底上げが進んだ。

全国平均正答率より、１０ポイント以上低い学校数の減少。
国語Ａ　　平成 26 年度　　６校→　平成 27 年度　　１校
国語Ｂ　　平成 26 年度　１１校→　平成 27 年度　　２校
数学Ａ　　平成 26 年度　１９校→　平成 27 年度　　８校
数学Ｂ　　平成 26 年度　１７校→　平成 27 年度　　８校

〈課題１〉●　理科については、全国平均正答率と比べると差が大きくなった。

小学校　平成 24 年度　98.0%→　平成 27 年度　　94.2%
中学校　平成 24 年度　95.3%→　平成 27 年度　　94.3%
※　全国平均正答率を 100%とする。

〈課題２〉●　小学校国語Ｂでは、二極化の傾向が強くなった。

全国平均正答率より、１０ポイント以上高い学校数の増加
平成 26 年度　　３校→　平成 27 年度　　７校
全国平均正答率より、１０ポイント以上低い学校数の増加
平成 26 年度　１８校→　平成 27 年度　２６校

⑷　調査結果の経年比較

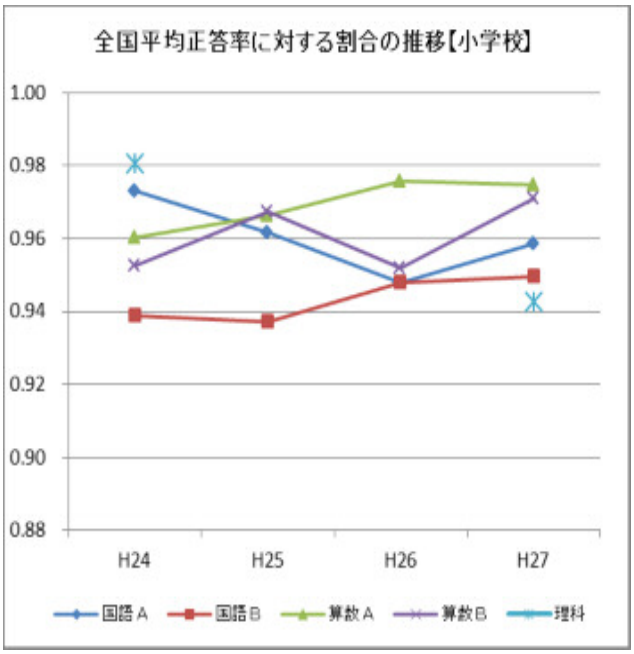
○　全国平均正答率に対する差と割合の推移（平成19年度～平成27年度）

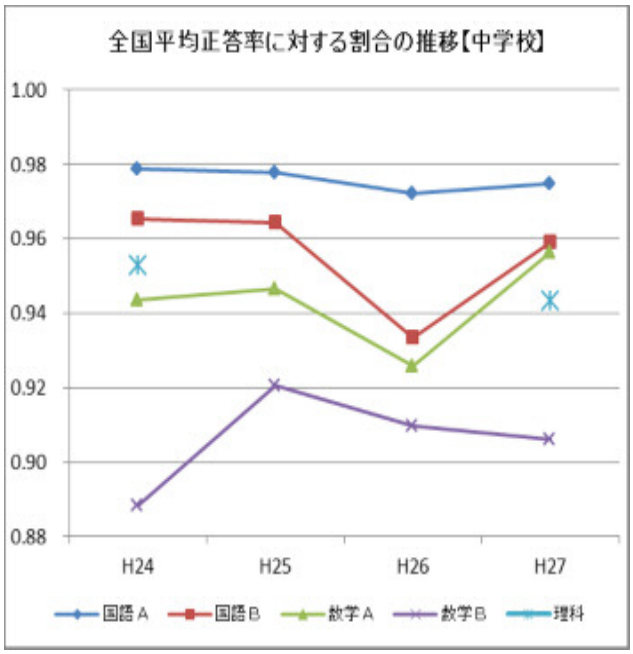
	小学校	国語Ａ	国語Ｂ	算数Ａ	算数Ｂ	理科
１９年度	本市	80.6	59.0	80.5	60.7	
	全国	81.7	62.0	82.1	63.6	
	差	-1.1	-3.0	-1.6	-2.9	
	対全国比	98.7%	95.2%	98.1%	95.4%	
２０年度	本市	62.3	45.2	69.9	47.3	
	全国	65.4	50.5	72.2	51.6	
	差	-3.1	-5.3	-2.3	-4.3	
	対全国比	95.3%	89.5%	96.8%	91.7%	
２１年度	本市	68.1	46.4	77.1	51.7	
	全国	69.9	50.5	78.7	54.8	
	差	-1.8	-4.1	-1.6	-3.1	
	対全国比	97.4%	91.9%	98.0%	94.3%	
２２年度	本市	81.8	73.7	71.1	47.4	
	全国	83.3	77.8	74.2	49.3	
	差	-1.5	-4.1	-3.1	-1.9	
	対全国比	98.2%	94.7%	95.8%	96.1%	
２４年度	本市	79.4	52.2	70.4	56.1	59.7
	全国	81.6	55.6	73.3	58.9	60.9
	差	-2.2	-3.4	-2.9	-2.8	-1.2
	対全国比	97.3%	93.9%	96.0%	95.2%	98.0%
２５年度	本市	60.3	46.3	74.6	56.5	
	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	
	差	-2.4	-3.1	-2.6	-1.9	
	対全国比	96.2%	93.7%	96.6%	96.7%	
２６年度	本市	69.1	52.6	76.2	55.4	
	全国	72.9	55.5	78.1	58.2	
	差	-3.8	-2.9	-1.9	-2.8	
	対全国比	94.8%	94.8%	97.6%	95.2%	
２７年度	本市	67.1	62.1	73.3	43.7	57.3
	全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
	差	-2.9	-3.3	-1.9	-1.3	-3.5
	対全国比	95.9%	95.0%	97.5%	97.1%	94.2%

	中学校	国語Ａ	国語Ｂ	数学Ａ	数学Ｂ	理科
１９年度	本市	80.5	69.0	69.2	57.1	
	全国	81.6	72.0	71.9	60.6	
	差	-1.1	-3.0	-2.7	-3.5	
	対全国比	98.7%	95.8%	96.2%	94.2%	
２０年度	本市	73.2	57.9	59.6	46.6	
	全国	73.6	60.8	63.1	49.2	
	差	-0.4	-2.9	-3.5	-2.6	
	対全国比	99.5%	95.2%	94.5%	94.7%	
２１年度	本市	75.7	72.5	59.5	53.9	
	全国	77.0	74.5	62.7	56.9	
	差	-1.3	-2.0	-3.2	-3.0	
	対全国比	98.3%	97.3%	94.9%	94.7%	
２２年度	本市	74.5	66.4	60.8	40.9	
	全国	75.1	65.3	64.6	43.3	
	差	-0.6	1.1	-3.8	-2.4	
	対全国比	99.2%	#####	94.1%	94.5%	
２４年度	本市	73.5	61.1	58.6	43.8	48.6
	全国	75.1	63.3	62.1	49.3	51.0
	差	-1.6	-2.2	-3.5	-5.5	-2.4
	対全国比	97.9%	96.5%	94.4%	88.8%	95.3%
２５年度	本市	74.7	65.0	60.3	38.2	
	全国	76.4	67.4	63.7	41.5	
	差	-1.7	-2.4	-3.4	-3.3	
	対全国比	97.8%	96.4%	94.7%	92.0%	
２６年度	本市	77.2	47.6	62.4	54.4	
	全国	79.4	51.0	67.4	59.8	
	差	-2.2	-3.4	-5.0	-5.4	
	対全国比	97.2%	93.3%	92.6%	91.0%	
２７年度	本市	73.9	63.1	61.6	37.7	50.0
	全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
	差	-1.9	-2.7	-2.8	-3.9	-3.0
	対全国比	97.5%	95.9%	95.7%	90.6%	94.3%

平成２４年度から平成２７年度までの各教科・区分の経年変化

（全国平均正答率を1.00とする。）





各教科・分類の状況（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

校種	教科区分	正答率が高い問題	正答率	正答率が低い問題	正答率
小学校	国語A	漢字を読む（招く）	96.8	文の主語を捉える	45.2
		漢字を読む（承知）	96.4	表現の工夫を捉える	15.0
	国語B	中心となる語や文を捉える	83.5	内容を整理しながら記事を書く	32.2
		文章の内容を的確に押さえ要旨を捉える	75.3	文章と図を関連付け、自分の考えを書く	37.9
	算数A	２８＋７２の計算	98.5	分度器の目盛りを読む	55.1
		数量の関係を図と関連付ける	87.8	円の性質の理解	46.3
	算数B	平行四辺形の性質	94.1	基準量を求める	14.2
		目的に応じた買い物の仕方	62.1	分割された面積が等しくなる理由を書く	10.5
	理　科	水蒸気の理解	79.2	グラフを考察し、内容を書く	25.1
		グラフの考察、分析し選択	82.2	顕微鏡の操作方法の理解	30.3
中学校	国語A	漢字を読む（載る）	96.6	表現の技法の理解	54.1
		適切な語句の選択（気象予報士）	96.9	適切な語句の理解（たなびく雲）	50.9
	国語B	効果的な資料を作成し、活用して話す	85.1	資料から自分の考えを書く	18.1
		表現の工夫について考えをもつ	85.8	根拠を明確にして考えを書く	28.2
	数学A	１２：９と等しい比を選択	93.5	数量の関係を文字式に表す	19.8
		５X－X の計算	83.9	証明の必要性と意味の理解	24.0
	数学B	考察の対象を明確に捉え立式	72.5	結果を数学的な表現様式を用いて説明	10.1
		事象を数学的に表現し、意味の解釈	64.0	問題解決の方法を説明	17.5
	理　科	塩化ナトリウムを化学式で表す	82.1	雲の成因を正しく説明	9.9
		天気の記号から風力を読み取る	72.4	実験の計画	26.0

２　教科に関する調査の結果と分析

⑴　正答数分布表及び平均正答数からみた本市の児童生徒

⑵　全国より無解答率の高い問題数の比較

⑶　小学校国語・中学校国語

⑷　国語科の分析及び改善の方向（仮称）

⑸　小学校算数・中学校数学

⑹　算数・数学科の分析及び改善の方向（仮称）

⑺　小学校理科・中学校理科

⑻　理科の分析及び改善の方向（仮称）

２ 教科に関する調査の結果と分析

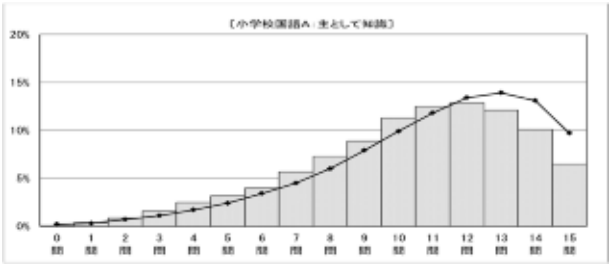
⑴ 正答数分布及び平均正答数からみた本市の児童生徒数の経年比較

平成26年度

〔小学校　国語A〕　15問

全国平均正答数　10.9　問	児童数
11問以上	**4,374**
10問以下	3,713

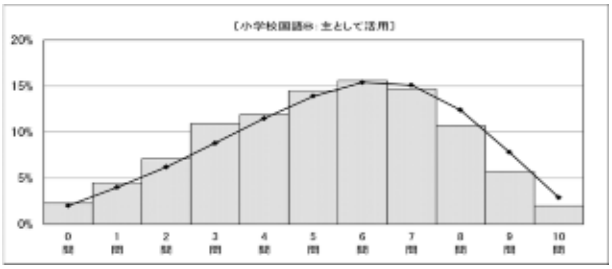
国語Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	10.4 ／ 15	69.1
全国（公立）	10.9 ／ 15	72.9



〔小学校　国語B〕　10問

全国平均正答数　5.5　問	児童数
6問以上	3,942
5問以下	4,147

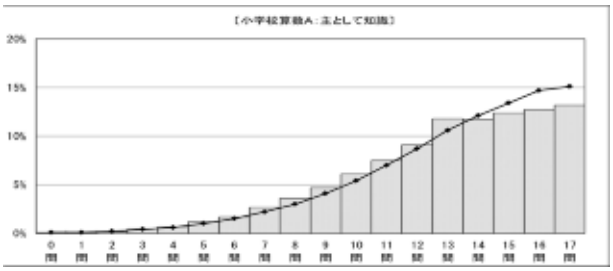
国語Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	5.3 ／ 10	52.6
全国（公立）	5.5 ／ 10	55.5



〔小学校　算数A〕　17問

全国平均正答数　13.3　問	児童数
14問以上	**4,046**
13問以下	4,042

算数Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	13.0 ／ 17	76.2
全国（公立）	13.3 ／ 17	78.1

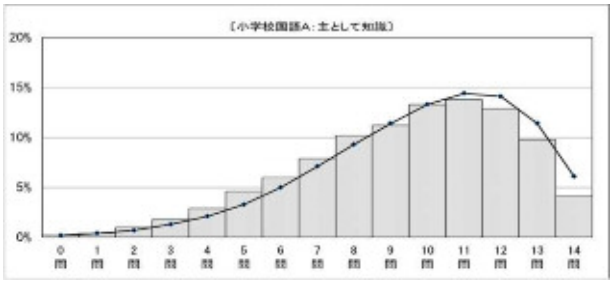


平成27年度

〔小学校　国語A〕　14問

全国平均正答数　9.8　問	児童数
10問以上	**4,183**
9問以下	3,583

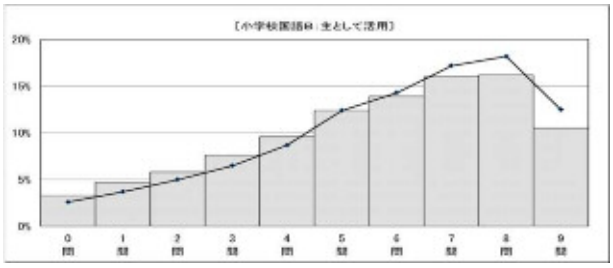
国語Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	9.4 ／ 14	67.1
全国（公立）	9.8 ／ 14	70.0



〔小学校　国語B〕　9問

全国平均正答数　5.9　問	児童数
6問以上	**4,394**
5問以下	3,362

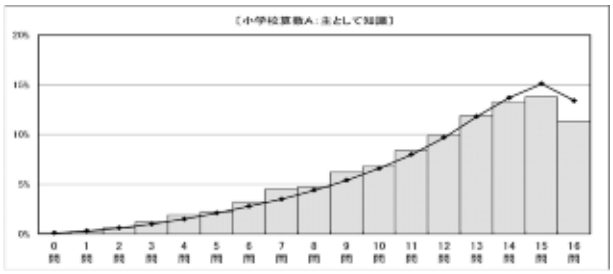
国語Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	5.6 ／ 9	62.1
全国（公立）	5.9 ／ 9	65.4



〔小学校　算数A〕　16問

全国平均正答数　12.0　問	児童数
13問以上	**3,897**
12問以下	3,869

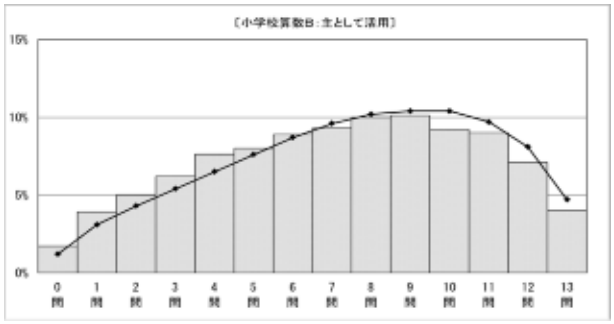
算数Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	11.7 ／ 16	73.3
全国（公立）	12.0 ／ 16	75.2



〔小学校　算数B〕　　13問

全国平均正答数　7.6　問	児童数
8問以上	3,995
7問以下	4,095

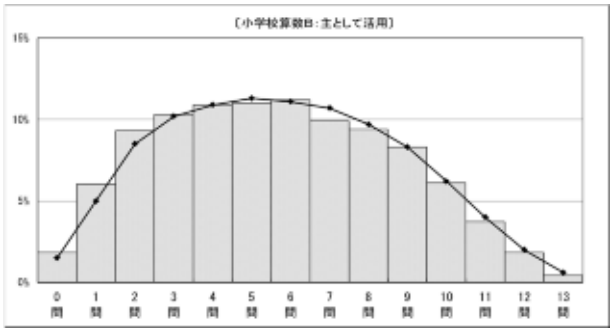
算数Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	7.2 / 13	55.4
全国(公立)	7.6 / 13	58.2



〔小学校　算数B〕　　13問

全国平均正答数　5.9　問	児童数
6問以上	**3,936**
5問以下	3,822

算数Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	5.7 / 13	43.7
全国(公立)	5.9 / 13	45.0

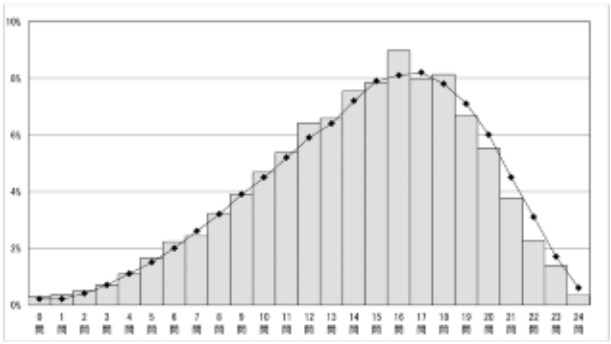


平成24年度

〔小学校　理　科〕　　24問

全国平均正答数　14.6　問	児童数
15問以上	**4,419**
14問以下	3,918

理科	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	14.3 / 24	59.7
全国(公立)	14.6 / 24	60.9

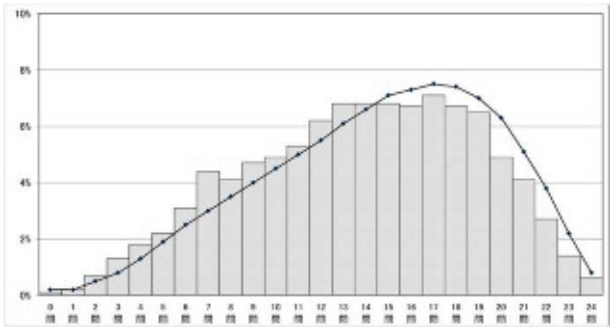


平成27年度

〔小学校　理　科〕　　24問

全国平均正答数　14.6　問	児童数
15問以上	3,683
14問以下	4,081

理科	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	13.8 / 24	57.3
全国(公立)	14.6 / 24	60.8

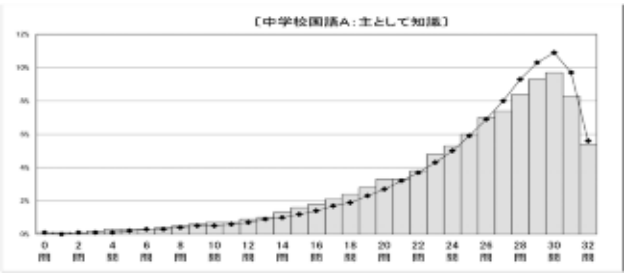


平成26年度

〔中学校　国語A〕　　32問

全国平均正答数　25.4　問	生徒数
26問以上	4,150
25問以下	3,327

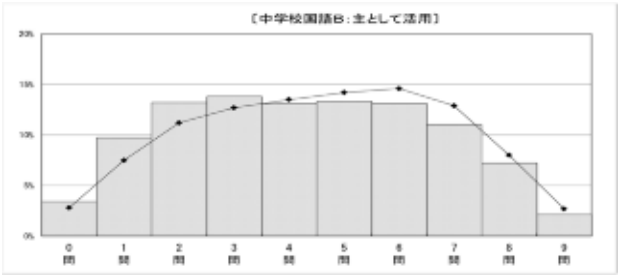
国語Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	24.7 / 32	77.2
全国（公立）	25.4 / 32	79.4



〔中学校　国語B〕　　9問

全国平均正答数　4.6　問	生徒数
5問以上	3,496
4問以下	3,987

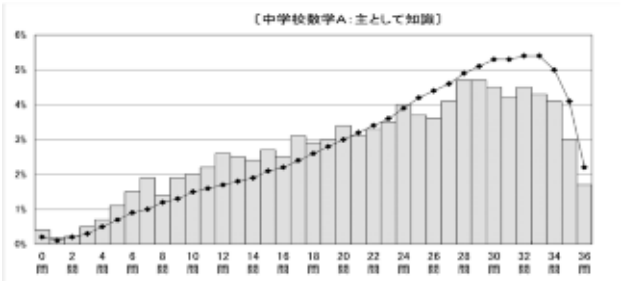
国語Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	4.3 / 9	47.6
全国（公立）	4.6 / 9	51.0



〔中学校　数学A〕　　36問

全国平均正答数　24.3　問	生徒数
25問以上	3,520
24問以下	3,967

数学Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	22.5 / 36	62.4
全国（公立）	24.3 / 36	67.4

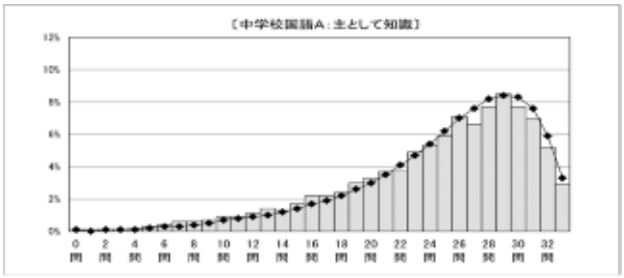


平成27年度

〔中学校　国語A〕　　33問

全国平均正答数　25.0　問	生徒数
26問以上	3,997
25問以下	3,582

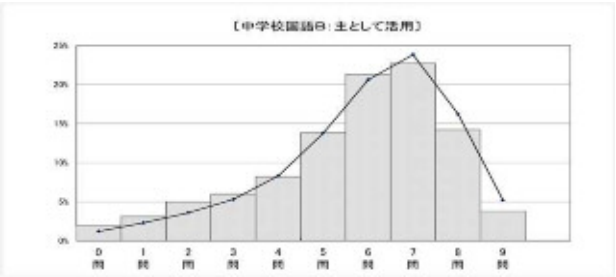
国語Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	24.4 / 33	73.9
全国（公立）	25.0 / 33	75.8



〔中学校　国語B〕　　9問

全国平均正答数　5.9　問	生徒数
6問以上	4,707
5問以下	2,885

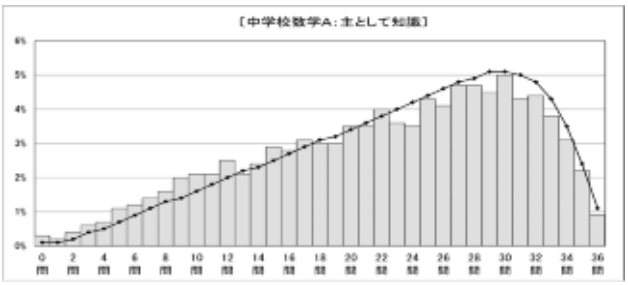
国語Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	5.7 / 9	63.1
全国（公立）	5.9 / 9	65.8



〔中学校　数学A〕　　36問

全国平均正答数　23.2　問	生徒数
24問以上	3,766
23問以下	3,820

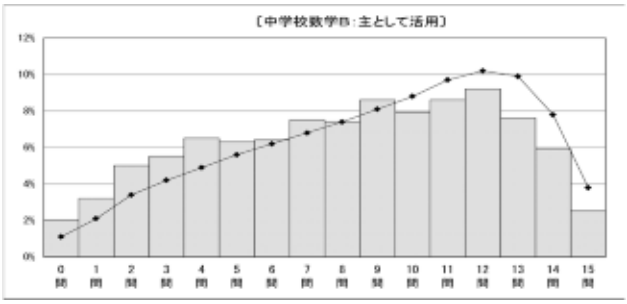
数学Ａ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	22.2 / 36	61.6
全国（公立）	23.2 / 36	64.4



〔中学校　数学B〕　　15問

全国平均正答数　9.0　問	生徒数
9問以上	3,762
8問以下	3,722

数学Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	8.2 / 15	54.4
全国（公立）	9.0 / 15	59.8

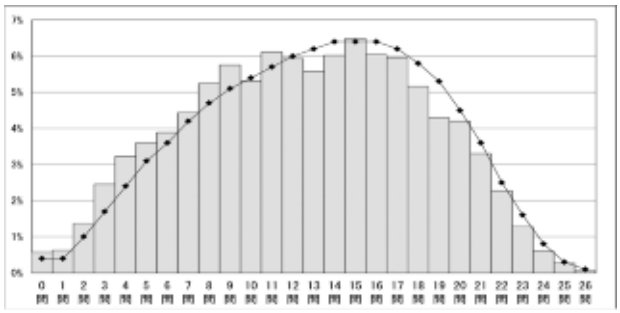


平成24年度

〔中学校　理　科〕　　26問

全国平均正答数　13.3　問	生徒数
14問以上	3,592
13問以下	4,232

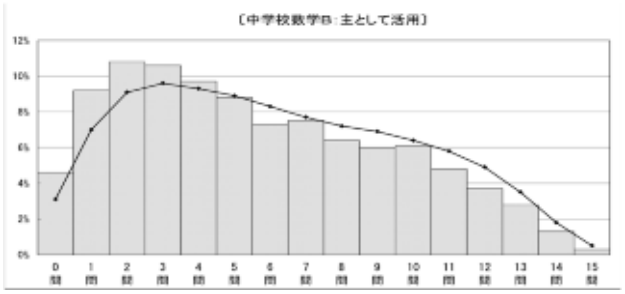
理科	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	12.6 / 26	48.6
全国（公立）	13.3 / 26	51.0



〔中学校　数学B〕　　15問

全国平均正答数　6.2　問	生徒数
7問以上	2,956
6問以下	4,635

数学Ｂ	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	5.7 / 15	37.7
全国（公立）	6.2 / 15	41.6

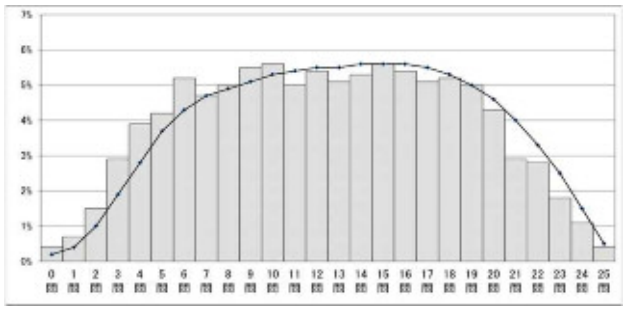


平成27年度

〔中学校　理　科〕　　25問

全国平均正答数　13.3　問	生徒数
14問以上	3,407
13問以下	4,189

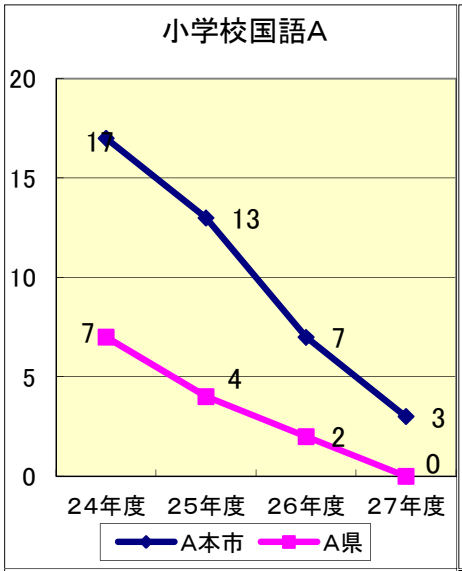
理科	平均正答数	平均正答率（%）
北九州市教育委員会	12.5 / 25	50.0
全国（公立）	13.3 / 25	53.0

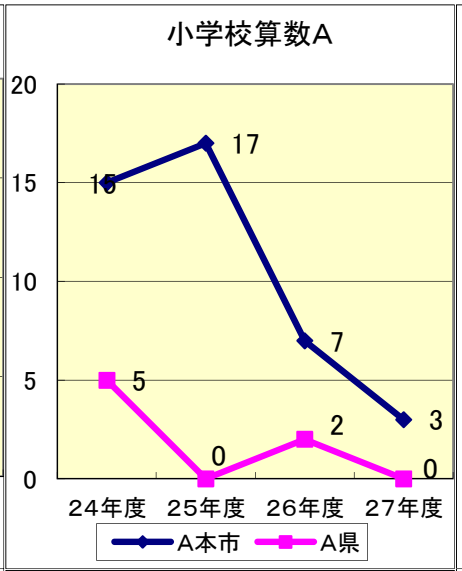


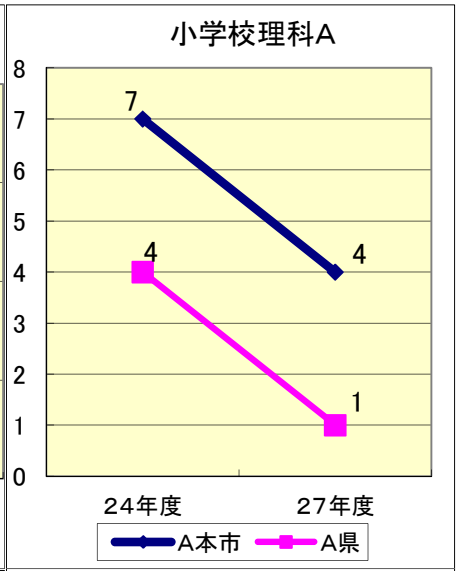
⑵　全国より無解答率の高い問題数の比較（小学校）

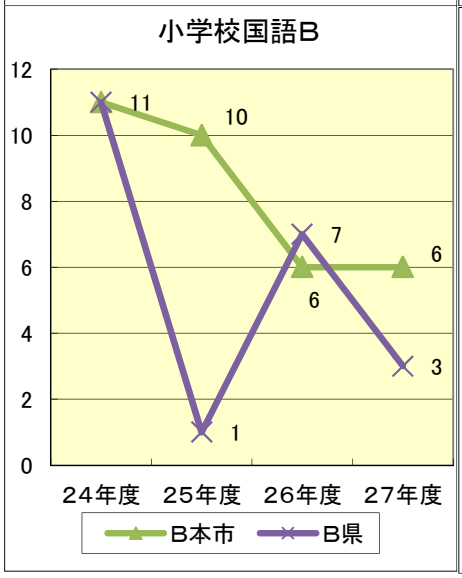
全国学力・学習状況調査結果より

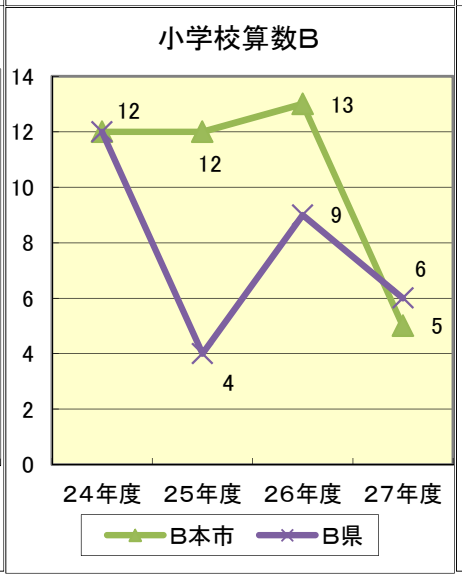
		国語				算数				理科	
		H24	H25	H26	H27	H24	H25	H26	H27	H24	H27
A問題	本市	17	13	7	3	15	17	7	3	7	4
	県	7	4	2	0	5	0	2	0	4	1
	問題数	17	18	15	14	19	19	17	16	7	9
B問題	本市	11	10	6	6	12	12	13	5	17	0
	県	11	1	7	3	12	4	9	6	16	1
	問題数	11	10	10	9	13	13	13	13	17	15

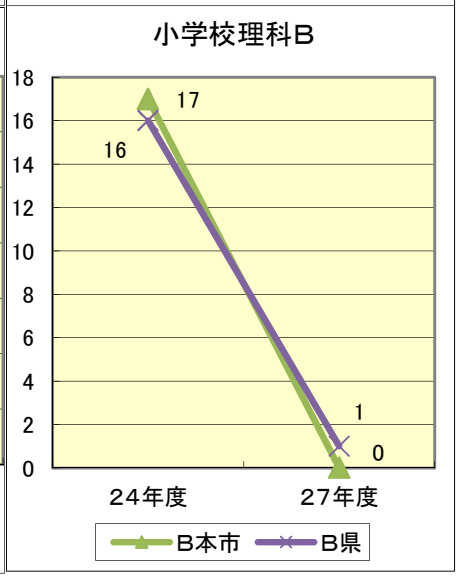








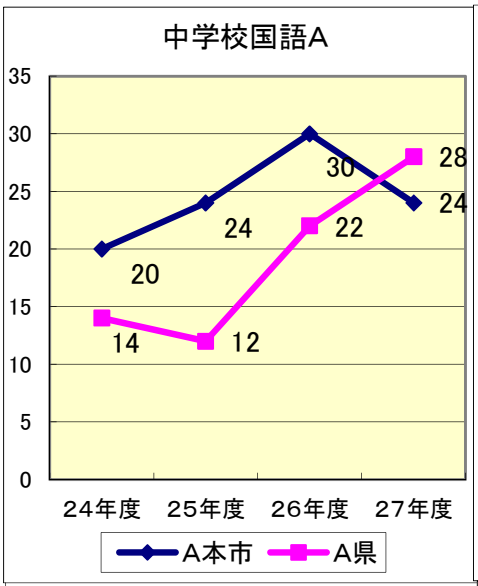


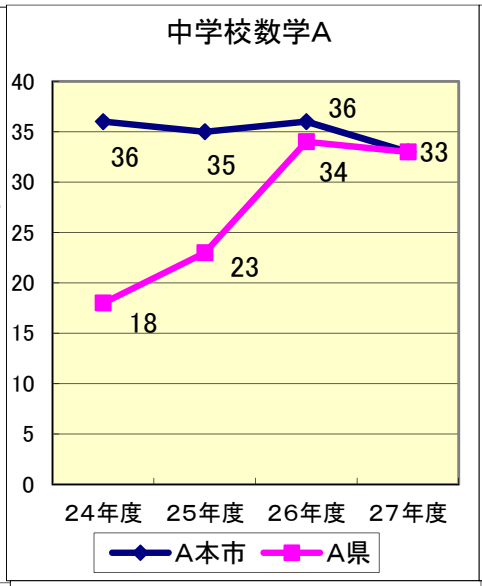


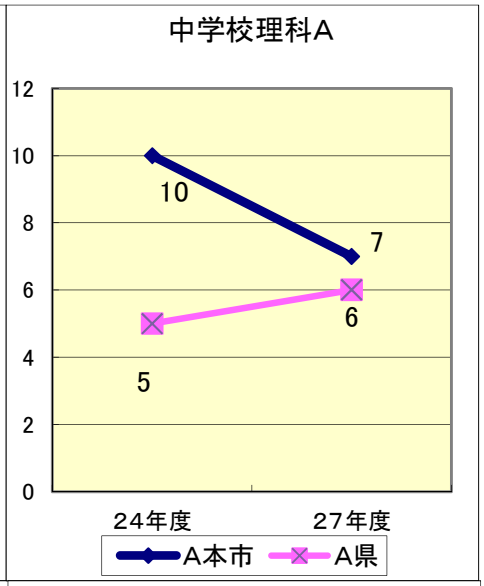
全国より無解答率の高い問題数の比較（中学校）

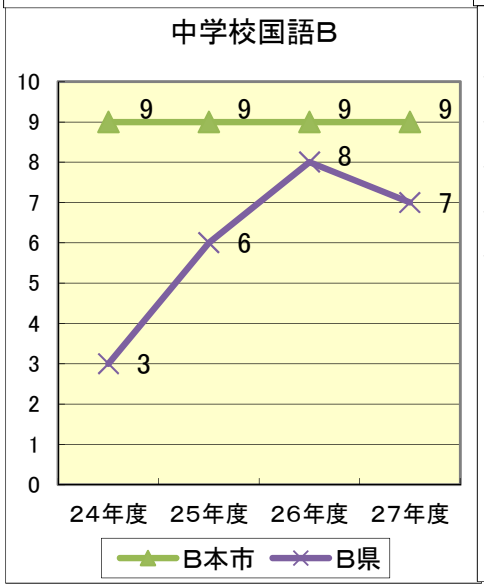
全国学力・学習状況調査結果より

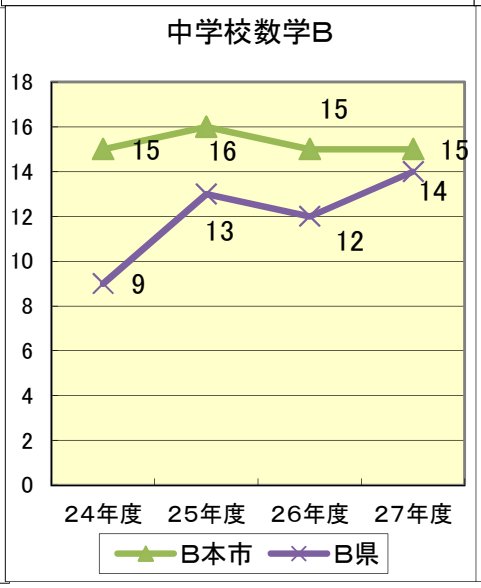
		国語				数学				理科	
		H24	H25	H26	H27	H24	H25	H26	H27	H24	H27
A問題	本市	20	24	30	24	36	35	36	33	10	7
	県	14	12	22	28	18	23	34	33	5	6
	問題数	32	32	32	33	36	36	36	36	10	7
B問題	本市	9	9	9	9	15	16	15	15	16	17
	県	3	6	8	7	9	13	12	14	6	14
	問題数	9	9	9	9	15	16	15	15	16	18

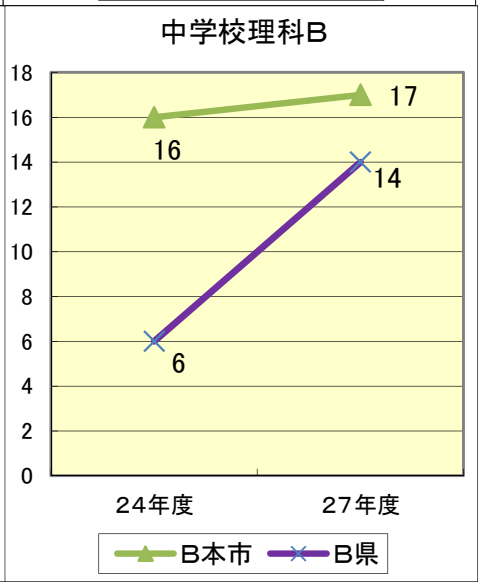












⑶　小学校国語　・中学校国語

○　国語Ａ　（小学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

集計結果

対象児童数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,766	1,061,264

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			北九州市（公立）	全国（公立）
全体		14	67.1	70.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	52.2	53.0
	書くこと	1	85.1	86.0
	読むこと	4	53.5	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	73.3	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	1	52.2	53.0
	書く能力	1	85.1	86.0
	読む能力	4	53.5	55.2
	言語についての知識・理解・技能	9	73.3	77.2
問題形式	選択式	7	64.3	66.4
	短答式	7	69.9	73.7
	記述式	0		

○　国語Ｂ　（小学校）

基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

集計結果

対象児童数	北九州市（公立）	全国（公立）
	7,756	1,061,093

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率(%)	
			北九州市（公立）	全国（公立）
全体		9	62.1	65.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0		
	書くこと	6	57.6	61.1
	読むこと	6	65.2	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0		
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	52.3	55.4
	話す・聞く能力	0		
	書く能力	6	57.6	61.1
	読む能力	6	65.2	68.1
	言語についての知識・理解・技能	0		
問題形式	選択式	3	64.6	68.6
	短答式	2	78.1	80.8
	記述式	4	52.3	55.4

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について
各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

○　国語Ａ

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	**北九州市（公立）**	全国（公立）	**北九州市（公立）**	全国（公立）
１一１	漢字を読む （友人を家に招く）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5･6 (1)ウ (ア)					○		○		96.8	97.5	0.7	0.7
１一２	漢字を読む （自分の信念をつらぬく）					5･6 (1)ウ (ア)					○		○		96.4	96.0	0.7	0.9
１一３	漢字を読む （全員がすぐに承知した）					5･6 (1)ウ (ア)					○		○		89.3	92.5	3.3	2.5
１二１	漢字を書く （シャワーをあびる）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5･6 (1)ウ (ア)					○		○		54.4	58.4	17.2	17.2
１二２	漢字を書く （鳥のすを観察する）					5･6 (1)ウ (ア)					○		○		69.9	76.5	6.9	5.7
１二３	漢字を書く （びょういんに行く）					5･6 (1)ウ (ア)					○		○		67.2	74.9	6.0	4.7
２一	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える				1･2 (1)イ (カ)					○	○			45.2	53.1	0.5	0.6
２二	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える				3･4 (1)イ (キ)					○	○			69.1	71.7	0.3	0.5
３	聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する	5･6 エ					○				○			52.2	53.0	0.3	0.5
４	説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文章を書く		3･4 ウ					○			○			85.1	86.0	0.2	0.3
５一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する	新聞のコラムを読んで，表現の工夫を捉える			5･6 ウ					○		○			60.2	59.5	1.2	1.6
５二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く				5･6 ウ					○			○		15.0	19.8	7.5	7.7
６	登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える			5･6 エ					○		○			66.9	67.5	1.7	2.6
７	応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から，必要な情報を読み取る			5･6 イ	3･4 (1)イ (オ)				○	○	○			71.8	73.9	3.0	4.3

○　国語Ｂ

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	**北九州市（公立）**	全国（公立）	**北九州市（公立）**	全国（公立）
１一	新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ，新聞の割り付けをする		5･6 イ					○			○			71.4	74.6	0.5	0.5
１二	見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ，記事に見出しを付ける		5･6 ウ					○			○			64.6	70.8	0.6	0.6
１三	【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ，取材した内容を整理しながら記事を書く		5･6 ウ			○		○					○	32.2	34.7	4.8	4.0
２一ア	［ア］に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ，中心となる語や文を捉える			3･4 イ					○			○		72.7	75.5	4.1	3.6
２一イ	［イ］に入る言葉として適切な内容を書き抜く				3･4 イ					○			○		83.5	86.0	6.5	5.6
２二	【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ，文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える		5･6 ウ	5･6 ウ		○		○	○				○	75.3	78.4	8.3	7.0
２三	楽器の分担の決め方について，【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて，自分の考えを書く		5･6 エ	5･6 ウ		○		○	○				○	37.9	41.6	10.9	8.7
３一	〈絵３〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして，場面の移り変わりを捉える			3･4 ウ					○		○			57.8	60.4	9.0	9.7
３二	声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する		5･6 ウ	3･4 ア		○		○	○				○	63.9	66.6	16.4	15.1